

ライフサポートねりま 山下 裕子/看護師

功 績 当施設の特徴である「安全に口から食べる」ため、複合施設全体の看護師・ケアワーカー職員に対しての知識・技術習得と質の向上を目指し、日々取り組んでいる。摂食嚥下の専門性を持ち、看護師としての使命感を果たし、その老健施設での取り組みの成果を施設外にも広めることが出来、当施設の知名度、利用者さんへのケアの質の向上に寄与した功績。

推 薦 者 看護部 看護師長 櫻井 真由美

推 薦 理 由 複合施設の看護部として、摂食・嚥下チームリーダーとして、精力的に活動しており、スタッフ間の信頼も厚い。今回の「食事姿勢・動作」に着目した活動の実践と知識・認識の共有は利用者さんの食事姿勢及び安全な食事動作・介助方法の改善に繋がっている。また、TQM全国大会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会に発表し、施設外にも老健での取り組みを広める事が出来た功績は大きく、職員達の学ぶ意欲向上にも繋がっています。

内 容

山下 裕子/看護師は、複合施設としての摂食嚥下チームリーダーとして、専門的な知識と技術を有し日頃より看護師・ケアワーカーの教育を行っています。

毎月の摂食嚥下チームの活動を通して、施設全体の摂食嚥下に対する、知識・技術の向上を目指し、研修を行い、新入職者にも当施設での食事に対する取り組みについて伝えられるように、研修プログラムを作成。施設内職員全体の食事姿勢や食事動作介助などに対する認識が高まり、実際の食事場面の姿勢の改善を図るべく看護師、ケアワーカーに加えセラピストと管理栄養士も協業体制を構築しチームアプローチが実践できています。

今年度、「食事におけるポジショニング援助技術の向上」はTQM活動を通して、TQM全国大会に発表、施設内での摂食嚥下についての取り組みを日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会に発表した事で、老健における活動を施設外にも広める事が出来、施設としての知名度、職員全体の知識・技術の向上にも繋がっています。

また、利用者さんへのケアの質の向上から、誤嚥性肺炎の発症率も低下し、今年度、誤嚥性肺炎による転院件数はゼロです。

当施設の理念に向かって、常に前向きに看護師としての使命感を持ち、取り組んでおり、施設全体の摂食・嚥下に対するケアの質の向上、利用者さんへ「安全に口から食べさせたい」の信念を複合施設全体に発信し、施設内外への教育・啓蒙活動に尽力しています。